

成果報告書

湘南藤沢学会「シンポジウム・研究ネットワークミーティング基金」第2期

総合政策学部 4年 蒲地亜紗

1. 集会名称あるいは活動の名称と概要

「ファミリービジネス（以下、FB）を研究する学生による意見交換会」

開催地：マルカン酢株式会社社会議室（兵庫県神戸市）

開催日時：2010年11月30日（火）13:00~14:40

企画：飯盛義徳研究会 FB 研究プロジェクト、甲南大学倉科ゼミ

2. 目的

近年、地方の中小企業における廃業や倒産の増加が深刻化している。また、後継者不足による廃業が少なくないと言われている。地方の中小企業の多くは、我々が研究する FB であるが、国内の FB 研究機関は現在発展途上であり、特に FB を研究する学部生のチームはまだ少ない。我々研究プロジェクトも活動方法や研究手法について模索段階であるという現状がある。FB を研究する学生同士が、活動や研究について報告、意見交換を行うことで、学部生による FB 研究の発展、ひいては、地方の中小企業発展の一助になると考えた。

そこで、今回、FB を専門にゼミ活動を行っており、日本の FB 研究を牽引する甲南大学倉科敏材教授と倉科ゼミの学生との意見交換会を行うことを目的とし、本基金に応募した。具体的には、我々研究プロジェクトは、事例研究のためのフィールドワーク、理論研究のための勉強会を中心とした研究活動を行っているが、倉科ゼミでは、公開資料を中心とした定量的な研究や自身が最も関心を持った FB を調査する個人研究を行っている。また、慶應義塾大学と甲南大学はともに、FB の後継者が多く通う大学でもあり、このような両大学の特性も踏まえつつ、研究活動、研究成果の還元について長期的に連携していくことができると考えた。

3. 参加者

甲南大学経営学部 倉科敏材教授

マルカン酢株式会社 笹田傳左衛門社長

総合政策学部 4年 蒲地亜紗

環境情報学部 3年 佐藤達朗

環境情報学部 3年 田中総一

総合政策学部 2年 奥津慶大

倉科ゼミ学生（経営学部 2年生）16名

4. 開催概要

今回の意見交換会は、倉科教授主導のもと、マルカン酢株式会社にて、甲南大学の卒業生であるマルカン酢の笹田社長、我々研究プロジェクトから4名、倉科ゼミに所属する甲南大学経営学部2年生16名（男性14名、女性2名）が参加し行われた。当日のプログラムは以下の通りであった。

13:00~13:30 マルカン酢工場見学

13:30~13:55 笹田社長よりご講演（マルカン酢、笹田家の概要、FB経営について）

13:55~14:40 意見交換

意見交換では、笹田社長のご講演をもとに、「FBを経営すること」「事業承継・後継者育成」「伝統と革新」という3つのテーマについて、ディスカッションを行った。

5. 意見交換会の成果

本基金第1期でご支援いただいた際は、倉科教授とのFBの定義に関する意見交換が実現し、倉科ゼミと研究分野で連携していくことで合意することができた。そして、今回、実際に倉科ゼミの学生とともにFBを訪問、FB社長との意見交換に参加することで、FBを研究する学生同士の交流を果たすことができた。倉科ゼミに所属する学生の約3分の1がFB出身者であり、FB研究を直接的に将来活かしていきたいと考えている学生もいれば、起業、経営というものに関心が強く、FBの永続性を追求したいという学生もあり、それぞれが、ゼミの中で体系化されたFBの理論の勉強、FB訪問、研究を行っているということがわかった。



【写真左】意見交換会での笹田社長（左）と倉科教授（右）



【写真右】マルカン酢本社前にて佐藤、田中、蒲地

6. 今後の展開

今回の意見交換会では、FBそのものについての議論が中心になってしまったため、次回の交流以降は、互いの研究活動について踏み込んだ議論を行っていききたい。また、互いの研究成果を共有することにより、研究成果を還元する方法として、両大学に在学するFB後継者に対し、事例紹介の講座を行うなど両大学の特徴を活かした取り組みが実現すると考える。FB研究、FB後継者の育成に貢献できるよう、今後もFBを研究する学生チームとして積極的に連携していきたい。